



11月19日に立山町総合防災訓練が開催されました。この訓練は立山町が国の機関、地元の関連団体とともに連携をとりながら、大雨による土砂災害を想定した実践的かつ広域的な災害応急活動等の防災訓練を実施するものです。

立山砂防事務所からは、ドローンによる被災現場の情報収集訓練を行いました。現在のドローン活用事例や今後の展開について説明し、ドローン飛行演習では撮影画面を共有することで被災時における情報収集の様子を参加者の皆さんに体験していただきました。

開催日時 : 令和4年11月19日(土)
8:30~12:00

場所 : 立山町上東地域活性化センター
(中新川郡立山町福田165)

- 訓練内容 : ◆避難所開設訓練/救護所開設・
応急処置/救出訓練
◆電気自動車による電力確保訓練
◆ドローンによる現場情報収集訓練
- ①ドローン活用例説明
 - ②ドローン飛行演習
 - ③ドローンで上空から撮影
- ◆展示ブースの視察



ドローンにて撮影中

地上のモニターで画面共有

ドローン飛行演習の様子

【訓練参加者の声】

- ドローンの活用により被害状況が迅速に把握できそうだ。
- ドローンからの伝送映像がかなり鮮明でわかりやすい。



救出訓練



電力確保訓練



展示ブースの視察



立山町長閉会の挨拶